



よこ 余湖 龍二 議員

可愛いペット
最後まで責任を

問

地域の野良犬・猫への町の対応は

町長

もっと町に相談に来てほしい

保護犬・猫の現状は

問 近年犬や猫の過剰繁殖が問題となっているが町内の現状は。

町長 動物の愛護および管理に関する法律では自治体のうち都道府県や政令指定・中核市などは一定の要件を満たした場合には犬や猫を引き取らなければならないと規定されているが、本町のような小規模市町村は保健所が保護することとなっている。

現状では町内において保護犬・保護猫はいないと思われる。

犬・猫の去勢手術へ助成の考えは

問 地域社会におけるペットの問題が顕在化しているが、このような状況を改善するために犬・猫の去勢手術への助成の考えは。

町長 犬・猫の去勢手術の助成金制度はオホーツク管内18市町村の中で3市町で実施されていると認識している。

近年は町内において犬や猫に関わる相談に個別に対応するケースは多少あるが、トラブルが頻発するような状況にないことから現段階では去勢手術に対する助成制度を設けることは見合わせている。

犬や猫についての相談は

問 「地域犬・猫」「野良犬・猫」の問題については町民の声にこたえる必要があると思うので、その啓発はどのようにするのか。

町長 毎年1回以上は町の広報紙においてペットの飼い方をお願いとして載せている。まずは町に相談に来てほしい。



多頭飼育は課題もあります

問

地域おこし協力隊員3年後への協力は

町長

3年後を見据え支援している

地域おこし協力隊現状は

問 地域おこし協力隊は地方創生を目的として都市部から地方に移住・就業する人が地域の活性化や振興につながる活動を行うことを目的とした制度だが、現在の町内の隊員の現状は。

町長 昨年度は6人を募集し、現在は3人の隊員が配置されている。

3年後への協力体制は

問 現在町内で活動している協力隊員の期間終了する3年後の移住・就業に対する協力体制は。

町長 それぞれの協力隊員の希望や考え方、スキルや経験などを最大限生かした起業や就業ができるように必要に応じて相談やアドバイスを打っており、3年後の任期終了を見据えながら協力隊活動費を活用し、必要な研修や資格取得などを行っている。

また、任期終了後の起業などによる定住促進を図るため4月には起業支援補助金制度を創設する予定だ。



余湖議員の一般質問を視聴できます